2	５番　　八　木　　亮　三　　議員 ①　随意契約の妥当性の確認 　本町は本年７月より、契約手続きの透明性向上を図るためとして、前年度の特命随意契約の理由等の公表を始めた。これは私が令和３年第１回定例会の一般質問で求めたことでもあり、取り組みについては大いに評価するが、公表された内容を確認すると、一般競争入札が原則である公契約にあって、随意契約とした理由や金額に疑義を感じるものも見受けられた。最少の経費で最大の効果を上げるという地方自治法に明記された地方公共団体の責務を本町が全うしているのか、公表された７年度の特命随意契約について、以下の内容を中心に質問し確認したい。また、後述の（３）については、覚書の内容全般についても聞く。 （１）７年度の特命随契一覧のうち、１５番「情報政策課の内部連絡用チャットツール使用料」１６８万9,６００円の随契理由が「複数の地方公共団体への導入実績を有するサービスであるため」として第２号随契となっているが、同様に自治体に導入実績のある事業者は他にもあるのではないか。随意契約でなければならない詳細を聞く。 （２）81 番「令和７年度長与町立小中学校給食調理業務」１億1,７７９万9,３５２円の町公共施設管理公社との第２号随契理由の中に「業務内容に精通しているので、最も効率的で、適切・確実に履行できるため」とあるが、７年度一般会計決算審査の中で、年度途中で調理員の退職があり新たな応募がなく、栄養教諭と調理員に献立や調理の見直しを工夫するなどの業務負担があったとの説明があった。調理員の退職は７年度に限らず度々あるという話も耳にするが、事実であれば、管理公社は「最も効率的で適切・確実」な業務ができているとは言えないのではないか。給食調理の職場環境の実態や問題の有無など、町はどのように認識しているか聞く。 （３）１０５番「多目的広場管理業務委託」３３９万３２０円の第２号随契理由が「長与・時津環境施設組合が設置するごみ焼却施設に係る覚書に基づく地域振興策の一環として行われている業務」とあるが、公園等の管理は特定の自治会でなければ履行できない業務とはいえず、また、覚書は随意契約の根拠にはなり得ないと考えるが、町の認識・見解を聞く。 （４）１６７番の「し尿収集運搬業務委託」が5,０９５万2,０００円で第２号随契となっているが、例えば年間のし尿収集延べ件数が約7,０００件の大阪府吹田市（人口約３９万6,０００人、面積36㎢）は令和３年度の同委託料が２,６００万円に抑えられている。事業の重要性や委託先が限定されることは理解するが、金額の妥当性を再検証する必要があると思うがどうか。 （５）随契の理由に「本町で利用しているシステムの提供ベンダーであり他業者では改修業務ができない」といった主旨のものが多数あるが、民間事業者は大企業であっても倒産や事業縮小などの理由で事業が継続できなくなる可能性は否定できない。そのような不測の事態が発生した場合に、同様の理由で随意契約しているすべての契約についてどう対処するのか。それぞれ、本町の業務が停止しないための代替事業者などが想定してあるか。 ②　財源確保のための取り組みについて 　社人研によると、本町の将来人口は２０４５年には３万人を割り、２０５０年には２７,２９５人、高齢化率は４３.５１％と推計されている。この人口および高齢化から試算すると、２０５０年度の当初予算規模は１４０億円程度となる上に、自主財源比率は大幅に下がり、財政の硬直化によって本町独自の施策が一層実施しにくくなり、個性や特徴が乏しい魅力のない町となってさらに人口が流出するという悪循環に陥りかねない。

	歳入歳出いずれも、一つ一つは少額であっても、その積み重ねが財政、ひいては住民福祉に大きく影響する。契約業務の見直しなどでわずかでも歳出を抑制すると同時に、歳入を増加させるために出来ることはすべて行っていく姿勢を持つべきと考え、地域活性化のための公社などを行政が主体となって設立・運営して経済循環・価値循環を創出している先進自治体なども参考にしながら、今後の財源確保の取り組みについて、以下を中心に質問する。 （1）２００４年に横浜市が先駆けて以来、自治体広告が全国的に広まっている。広報紙は元より、住民への送付物の封筒や図書貸出票、指定ごみ袋などへ広告を募集・掲載している自治体もあり、長崎市や諫早市などは公用車への広告掲載を行っている。本町もこのような自治体広告事業に取り組むべきと考えるがどうか。 （2）広告と同様の財源確保策として、公共施設・公園へのネーミングライツを導入してはどうか。 （3）長与川河口の金毘羅橋下西側の町有地が何の生産性もないまま長年塩漬けとなっている。国の地域未来戦略に基づく補助金・交付金も視野に、公社の設立や官民連携などの手法によって陸上養殖施設などの収入と雇用を生む施設を作るなど、遊休町有地の活用を考えるべきと考えるがどうか。